

(写)

平成30年11月26日

竹原市長 今 榮 敏 彦 様

竹原市総合計画審議会  
会長 伊 藤 敏 安

竹原市総合計画（基本構想）の策定について（答申）

平成29年11月10日付け竹企第19号で諮問がありました竹原市総合計画の策定については、審議会において慎重に調査・審議を重ねた結果、別紙のとおり取りまとめましたので、次の意見を添えて答申します。

なお、基本計画については、改めて答申します。

[意見]

- 1 平成30年7月、竹原市は集中豪雨に見舞われ、甚大な被害が発生しました。この災害からの早期復旧・復興は、基本構想案に重点テーマとして位置づけられているところですが、災害からの早期復旧・復興をいわば発条（バネ）とし、市民をはじめとする多様な主体と行政との連携・協力を一段と密にしたうえで、「元気と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。」という将来都市像の具体化に向けて、まちづくりに取り組まれるよう期待します。
- 2 人と人の顔の見えるつながりが保持されていることは、竹原市の大きな特徴の一つと言えます。その一方、人口減少と高齢化などを背景に、そのようなつながりが希薄化しつつあるという問題も指摘されます。そのため地域コミュニティの再生を図り、竹原市への誇りと愛着を育みながら、自助・共助・公助のバランスのもとで、多様な人たちの発想力や行動力を活用したまちづくりを進められるよう期待します。
- 3 本審議会での審議のほか、「将来都市像」に関するアイデア募集や「基本構想」策定のための意見募集（パブリックコメント）において、多数の市民の方から貴重な御意見・御提案をいただきました。これらの御意見・御提案についても、今後のまちづくりや市政の点検・評価に積極的に活用されるよう期待します。